

令和3年度  
第2回北杜市廃棄物減量  
等推進審議会 会議録

北杜市森林環境部 環境課

令和3年度 第2回北杜市廃棄物等減量推進審議会 会議録

- 1 会議名 令和3年度 第2回北杜市廃棄物減量等推進審議会
- 2 開催日時 令和3年10月21日（木）午後3時30分～4時35分
- 3 開催場所 北杜市役所 本庁 西館会議室
- 4 出席者（敬称略）12名  
仲沢仁、早川浩朗、清水永一、佐藤恒夫、伏見武仁、有泉賢一、浅川和也、  
秋山司、篠原充、水上直樹、三井茂、草野香壽恵

事務局

森林環境部長	大芝一
環境課長	中山由郷
環境保全担当	谷畑祐介、谷戸克仁
中日本建設コンサルタント（株）	山田剛士、中村雅人、那須三樹代
会議録署名委員	仲沢仁、水上直樹

※審議会の公開について承諾をいただく。

- 5 議事
  - 1 北杜市一般廃棄物処理計画について
  - 2 ごみ及び資源物について
  - 3 その他
- 6 公開・非公開の別  
公開
- 7 報道及び傍聴人の数  
無し

## 会 議

### 1 開会（浅川副会長）

ただいまから審議会の開会を宣言します。

### 2 会長挨拶

本日は案件が2つあるが慎重審議をお願いしたい。

### 3 議事（草野会長が議長就任）

議事に先立ち出席委員数が12名で審議会が成立する旨を報告。議事録署名人に仲沢委員、水上委員を指名（異議なし）。

（議長） 議題1「北杜市一般廃棄物処理計画」について事務局から説明を求める。

（事務局） 北杜市一般廃棄物処理基本計画について説明。現時点での状況を報告。資料「北杜市一般廃棄物処理基本計画」【素案】について説明。説明中に目標とする「リサイクル率」の数値設定を協議してもらおう旨を伝える。

リサイクル率について、紙類の減少とプラスチック類の増加の移り変わりを説明。その他、別荘ごみの収集状況、ごみ及び資源物の収集方法、処理経費について説明。（数値誤りについて修正を報告）。6章以降について今後策定する予定である。

ここで、本日の審議案件であるリサイクル率の決定及び家電リサイクル法に係る4品目（特定家電）について説明。

中日本建設コンサルタント株式会社より補足説明（リサイクル率の目標設定：P13について）。リサイクル率を上げるには、ごみの排出量を減らし、資源物を増やす必要がある。特に紙類及びプラスチック類については再資源化を進める必要がある。

（議長） この件について、質問・意見を募る。訂正した数字は次回報告をお願いしたい。

（委員） リサイクル率が高いほうが良いか、低いほうが良いか。  
リサイクル率を算出する方法は別になのか？

（事務局） ごみは基本的に出さないことが望ましい。リサイクル率が高い方がいいか低い方がいいかと問われると、高い方がいい。

(委員) リサイクル率は低いと何か問題があるのか？

(事務局) 広い意味で地球温暖化、資源の再利用等に繋がっていく分、リサイクル率の向上に努めていきたい。

(委員) リサイクル活動を活発にするのが根底にある。地球資源の枯渇、そういうものの先にある、資源を無駄に使わない、リサイクル活動を活発にしようという、リサイクル率を上げていくことが目標。

(事務局) リサイクル率の算出については重量換算が一般的となる。

(委員) P19の乾燥重量について何か意図があるのか。

(コンサル) この組成調査は、全ての焼却施設において法律で定められており、調査しなければならないものとなっている。年4回調査が行われており、ここでは平均値が入っている。調査の方法も決められていて、乾燥ベースで調査をするという形になっている。ごみの調査はこの計画に載せているが、北杜市のごみの状況を確認するために調査しているのではなく、焼却施設で燃やすときに、どれくらいの管理をしなくてはいけないかというための調査であり、参考として載せている。乾燥したベースの調査しかしていないというのが現状である。

今回乾燥したものを示したかったのではなく、この調査しかなかったの  
で示している。本来だと、湿った状態、水の入った状態でどれだけのものが入  
っているかを見る方が参考になる。

ここに出てきている割合は、経年的にみると、紙・布類が増えている。そう  
いう見方しかできないということをご理解頂きたい。

(議長) 私もこの件については関心がある。厨芥類(生ごみ)というのはわかりに  
くい。パーセントで示されているが、重量の方が分かり易い。厨芥類の部分  
などをもう少し分かり易くして欲しい。折れ線グラフで示した方が、動きが  
分かってよいと思うので、検討頂きたい。

(コンサル) 重量も分かるので、示すことはできる。そういうデータも分析して載せさ  
せていただく。市の担当者と相談しながら作成する。

もう一つ補足すると、ごみの組成調査は、施設ごとに行っているものにな  
る。北杜市の数値のように説明したが、峡北広域事務組合で調査している数

値であり、北杜市だけのごみではなく、構成市で入ってきたものを合わせたごみの組成になる。北杜市のごみも搬入しているので、紙類のごみが増えている。北杜市でもそういう可能性があるという話をさせて頂いた。量として分析もさせて頂くが、参考ということをご了承して頂きたい。

(委員) リサイクル率をどうもっていくか。委員も判断が難しいところがあると思うが、重量でみるということもあるが、ごみを出すときに、リサイクル可能なもので可燃性のものであれば、大抵可燃ごみ袋に入っており、組成から可燃ごみの重量に対する可燃のリサイクルできるのか判断できると思う。自分では分からないが、可燃ごみの中に今まで入っていたリサイクルされるべきもの、分別できるもの、不燃ごみに入った不燃性のリサイクルできるもの、そういう言葉の方が、委員も分かりやすいと思う。

(コンサル) 目標として何を目指していくというときには、家庭系の可燃ごみの中に入っている紙やプラスチック製容器包装をどれだけ資源に回すか。そういう数値を示さないと進んでいけないと思うので、そういう部分を整理している。具体的にごみの中にどれだけのものが入っているのか、先程示したように割合での組成の結果というものもみて、量を見直したりして、数字をベースに具体的な数値を決めていきたい。

リサイクル率は何%ぐらいがいいのか、難しい問題ではあるが、今の17%は低めになっている。だいたい20%ぐらいが全国的に出てくるリサイクル率なのかと思う。現行計画策定当初は22%と高めで、分別されていたものが少し下がったのかと思う。改善していきたい等のご意見を頂きたい。

具体的に示していく目標数値については、ご意見頂いたような家庭の可燃ごみの中に紙を分ける等目標が達成できる。施策の目標として、計画に盛り込んでいきたいと考えている。

(議長) 他にあるか。

(委員) 市の方に伺いたい。先程の説明の中に、スーパーなどに紙、缶、ペットボトルを持ち込んでいる。それは市として推奨するものなのか、見解を教えてください。

(事務局) 再資源化している現状からみるといいことだと思う。企業としてもそういう活動をしていることはいいことだと思う。今回計画を作るに当たり上手く表現できる。先程3%減ったとあるが、市民のマナーが悪くなったわけでは

なく、他に原因があると思う。そのようなところも議論していきたい。確かに減少し、調査して資源化できればいいと思うが、その辺も考えさせて頂きたい。現状の企業とか出して、消費した量とか分からないので、そのあたりも予想ができれば、コンサルと検討していきたいと考えている。

(委員) 先程の説明、スーパーとか集めているが、相場に左右される。相場がいいとスーパーは集める。相場が落ちると、スーパーは止める。その時、行政は悩む。一番の問題は、中国が平成 30 年頃まではほとんど受けていたが、受け入れなくなった。日本のリサイクルが一時止まった。マレーシア、ベトナム、タイに行っていると言っているが、バーゼル条約が今年の 1 月 1 日から始まり、きれいな資源ごみでなければ流通されない。

段ボールとかの資源ごみ、中国の必要・不必要により相場が変わる。アメリカ等でスチールの価格が上がったが、コロナの関係で無料同然になった。スーパーとかは経費が掛かるので、相場によって変わることをご理解頂きたい。

(議長) 他に何かあるか。

(副会長) 資源物の関係でスーパーでの収集量の数値が隠れていると思う。その部分の数字を加算したら、実はそんなに悪くない数字、市としてのリサイクル率もいい数字になるのではいかと思う。その数字は出し難いとは思いますが、最初の計画部分で、その部分を考えてなかった数値を出されていると思うが、その部分の数値、取扱いを事務局の考えをお聞かせ願いたい。

(事務局) その意見については検討している。都会の生活スタイルと違って、約 2 万世帯がある中で、だいたいどれくらい出るとか平均みたいなものを使った方がいいのか、このくらい消費すればこれくらい出るとか、市に出す分とスーパーに出す分とか、価格の関係でステーションに出てくるかもしれないが、推計をしながら、算出方法を検討していきたい。

(委員) 事業系という位置づけになる。事業系ごみの量は市に届け出をしている。リサイクル回収したものについては数値を報告する義務もない。ただし数値を出すことは可能だと考える。

(委員) 収集量を把握しないといけないと思う。

(委員) 店舗にも収集業者がいると思う。溜まったものを収集し、店舗と業者の間で決済がある。必ず伝票があると思うので、これを出すことは可能だと思う。

(事務局) 事業系と収集している分となるが、店舗回収のところで事業所が廃棄するとは考えにくいので、生活系の分になると考えている。

(委員) 平成 28 年度のスーパーはどうであったか。

(委員) 6 年前はまだよかったと思う。スーパー競争というものがあって、スーパーの中でポイント制が流行り出した。最初はそんなところから始まった。私たちのスーパーは一生懸命、リサイクルに力を入れているという一つの広告にもなる。利益はほとんどなく、場所を提供している。何故提供しているかと、アパートとか一週間置き場所がない。市に出すときには、歩けないぐらい資源物でいっぱいになる。かといって不法投棄するわけにいかない。スーパー行ったついでに出すとかになる。結局保管場所が問題になると思う。市がやると、経費が掛かる。

(委員) そうであれば、当時のリサイクル率を目標にすればいいと思う。

(事務局) 一般的に 20%は全国的な数値で、22%はかなり高い数値である。

(コンサル) 20%が一般的と話したが、都市部とかまちまちだと思う。状況的に 22%は高い数値だと思うので、当時は市の方に入っていたのかと思う。

さきほど話されたようにスーパーなどに協力を求めて、資源を実際に集められた業者をお願いして出して頂く、そういう自治体も多くなった。そういう取組も必要になってくると思う。直ぐに集めて結果を出すのは難しいと思う。

(委員) 算出時の積算は重量か。

(コンサル) そのとおりである。

(委員) スーパーが集めているものは、ほとんど重量がないものである。新聞・雑誌が減ったことが原因だと思う。

(コンサル) そのとおりだと思う。

新聞を取られている家庭が減っている。紙類の減少というのは、この5年に限らず、その前から減ってきている。

確信はないが、ごみ量を見た時に、1人1日当たりのごみ量が増えている現状もあり、スーパーとかに紙や新聞を出し、市の方に出すものが減っているということになると、市民1人が出すごみ量は減っていくとの整合が取れるが、実際見てみると、その分増えている。スーパーとかに流れて資源が減っているはずなのに、増えているということになると、そこは少し整合が取れないということもある。まだ資源を分別することが必要なのか、ごみを排出抑制することが必要なのか、その辺りも含めて、リサイクル率を少し上げる目標があってもいいのかと思う。

(委員) 増えているとはどのようなことか。

(コンサル) 平成28年度から令和2年度の実績から比較をした結果である。

(委員) 現在、スーパーがもの凄く忙しい。そして、家庭での消費が増えている。コロナが原因ではないか。

(委員) ごみが増えているということだが、人口は住民登録のされている人口という解釈で良いか。

(コンサル) そのとおりである。

(委員) 住民の方々は生ごみを堆肥化し畑に有効に活用できるが、そうでない方々はそのように処分できないので、全て排出される。人口は減っているが、そうでない方々が相当数いる。

(コンサル) 住民登録されていない人については、一概に言えることではないが資源化されるものも増えるはずである。リサイクル率が下がりごみが増えると整合性が取れない。分別に取り込んでいない人が分別しないで排出するとすべてごみで出してしまう。ただコロナの話をしてしまうと分析しにくい部分もある。

(委員) できるかどうか分からないが、プラスチック・ペットボトルなど、出すしかないごみを、資源回収できる体制を整えていく必要があるかと思う。

(コンサル) 住民登録されていない人について事務局の方と話をさせて頂くのと、その前に委員からコロナ禍の巣ごもりでここ数年全国的にごみが増えている状況がある。一概に言えないが、家庭で消費されるごみが増えた。その場合に家庭から出される資源の量も当然消費される量が増えている。リサイクル率が変わらないのであればいいとは思いますが、リサイクル率が減りごみ量が増えると明確に出てくると、必ずしもコロナ禍でごみ量が増えたと言えない。今まで家庭で過ごさなかった人が、家庭で過ごす時間が増え、普段分別する人以外の人がごみを出すようになったことになると、分別されないごみが増えたという影響も出ているという話もある。

リサイクル率が下がっているのは、改善する必要があると思う。コロナの話をすると分析が難しい状況がある。コロナが治まってくれば、平成 28 年度当初のリサイクル率を基準にし、その数字を目標に掲げていくのもありかと思う。

(議長) この件について、何かあるか。リサイクル率は決めたほうがいいのか。

(委員) 長年地区のごみステーションを見ているが、ごみを分別して出す人は決まっている。自分の地区は高齢者が多く、分別して出している家庭は若い家庭で、何でも燃えるごみに入れている高齢者の方もみえる。どういう地域に住んでいるかによってもごみの排出方法が違う。自分のように山間地に住んでいるごみステーションをみると、出てくるごみも同じ。分別しないで燃えるごみを 1 か月に 1 個出せばいいほう、そういうことも考えてみると、地域性もあると思う。

(議長) 他に何かあるか。

(委員) リサイクル率、家庭ごみの中で、可燃、不燃、粗大、資源の合計の中で、資源物を足したものがリサイクル率だと思うが、この 5 年で増えているものは資源ではなく、可燃や不燃が増えている。これを減らさないと、リサイクル率が増やすことは厳しいのではないかと思う。まして今問題になっているペットボトルとか増えている。家庭ごみの可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを減らしていけば、資源ごみはこのままでも、リサイクル率は上がっていくと思う。

(議長) 他に何かあるか。リサイクル率は決めたほうがいいのか。

(委員) 別荘のごみが、可燃ごみと不燃ごみの分別であり、資源ごみを出せるような仕組みを作ってあげる。別荘ごみの可燃ごみが相当出ているので、どれくらい資源が出ているかを算出してほしい。今、別荘の方々は資源を出す日がない。行政のほうで仕組みを作って頂いて、資源が出せれば、ごみの量も変わるので、そのようなことをして頂きたい。

(議長) 他に何かあるか。

(コンサル) 別荘関係のごみが問題になっていることについては、市の方でも問題意識を持たれており、こちらにも相談を受けている。今のご意見も踏まえて具体的な取組を、市の方と詰めさせて頂きたいと思う。

(議長) 高齢者の問題もあり、難しいと思うが、今の問題も踏まえてこの計画を立ててほしい。先程から、リサイクル率を提案しているがどうしたらよいのか。

(委員) 今、問題に上がっている目標数値をどうするのかよく理解はしているが、委員の皆様から、リサイクル率を出すためにごみの総量を減らす。あるいは具体的にスーパー等の数値を加えるとか、リサイクル率を上げる以前の問題だと思う。今算出したところで、分子が変わる、分母が変わる、意味のない数値になる。今日、この席で目標数値を出すのは困難だと思う。如何か。

某スーパーとか、某酒屋とか集めているが、コンサルの言うその量を含めてリサイクル率を算出している自治体もあるようだ。自分の知る限り、某スーパーはポイント還元して、売り上げに貢献するために、社会貢献のアピールのために行っている。リサイクルできるものを販売する、非常にナイーブな売り上げに繋がるもので、簡単に資料を出してくれるものなのか。自分が販売者なら出したくない。

(コンサル) 実際に数値が出せないという場合もある。調査自体は行っているが回答をもらったところともらえなかったところとがある。  
三井委員の話から別荘やスーパーの話で分母が変わってくる場所である。そういった数値を積み上げて案を作っていくほうが現実的であると考えている。

(議長) 他に何かあるか？

(コンサル) 今の質問で、スーパー等は協力してくれるのかに関しては、協力して頂けないと聞いたこともある。最近だと、スーパー等も地元貢献ということもある。

り、行政に協力してくれるところもあると自分の経験上実感としてある。協力してくれるところも実際あって、量に反映している自治体もある。今から調査して全ての業者が協力してくれるのかと言われると、協力してくれないところがあり、全ての数量を集めるのは難しいが、協力して頂けたところから類推して出していくしかないと思う。そういうことをやっていくべきかと思う。まだまとまってないが、調査は行って、答えてくれたところと答えてくれなかったところがあり、類推しながら数字を作っていけたらと思う。その前の委員からのリサイクル率をどうするかについては、今日いろいろなご意見が出てきて、分母分子が変わってくる、スーパーの量をどう扱うのか、別荘のごみをどう扱うのか。リサイクル率、過去の 22%でいいのかについては、疑問もあるが、今ここで決めるより、積み上げたもの、今日ご意見を踏まえたもので、市と協議しつつ、案を作っていきたい。

(事務局) 本日は、積極的な意見を出して頂いたなかで、コンサルの話もあり、今ここで数字を出すのは困難だと感じた。コンサルと詰めて、事務局の方で出さして頂くことでお願いしたい。

(議長) 他に意見があるか

(委員) もう 1 点お願いしたいことがある。15 ページのごみ処理体制の表 3-4 のところ、資源物の排出形態において、地区で出す場所が決められており、地区の中で不適物がないか点検したりして、資源化を進めている。その他、資源ごみをごみステーションにいつでも出せるところがある。出し方が 2 通りある。どちらがいいかはわからないが、統一したほうがいいと思う。資源化率を上げるためにも統一したほうがいいと思う。

(議長) 委員の中で、ご意見あるか。  
ないようなら、次の課題について事務局説明をお願いしたい。

(事務局) 家電リサイクル 4 品目についての収集方法について説明。

(議長) 特定家電について 4 か所程度に集約したいと考えていることについて、何かあるか。

(委員) 自分は環境事業協同組合にいる。家電リサイクル法に関しては、行政との組合の事業ではない。家電については不法投棄を防ぐために行ってい

る。

1日に3~4名で受付し、3時間で集まったものが10台とか20台とかしか集まらない。

家電リサイクルは一般廃棄物のカテゴリから外れていて、家電リサイクル法で処理を行っている。出てきたテレビや冷蔵庫は、組合に保管することができず、その日のうちに運ばなくてはいけない。そのために、車で、3・4人で受付をする、ほぼボランティアのような状況が続いている。できればもう少し数が集められる方法として、8町を二つぐらいに分ければできると思う。8か所を4か所ぐらいに絞る方法をさせていければ効率がいいのではないかと思い、市のほうに提案させて頂いた。

(議長) 何か意見はあるか。

(委員) 先月、ブラウン管テレビを持っていった。3人の方がいて、数個しかなく、大変だと思った。例えば須玉と明野を1か所にして、今年は須玉だったら、来年は明野というようにすればいいと思う。賛成だ。

(議長) 収集効率を良くする。CO<sub>2</sub>の排出を抑制する考えでいいことだと思う。この件について、委員のなかで意見があるか。

(全員) 異議なし。

(事務局) 補足説明。4か所に絞るがどこでも出せる。

(委員) ごみカレンダーにて周知するといいと考える。

(事務局) カレンダーに間に合えば掲載したい。

(議長) 他に意見はあるか。

(その他意見無し)

(議長) 2について事務局説明をお願いしたい。

(事務局) ペットボトルの水平リサイクルについて説明

(議長) 何か意見はあるか。

(全員) 異議なし

(議長) 3について事務局説明をお願いしたい。

(事務局) その他についてごみ袋の値上げ、規格、資源ごみの収取方法についての説明

(議長) 何か意見はあるか。

(全員) 異議なし

(議長) 議事を終了とする。

#### 4 閉会

会議終了 午後5時20分

以上、令和3年度第2回北杜市廃棄物減量等推進審議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名 \_\_\_\_\_ (印)

署名 \_\_\_\_\_ (印)